

幸せになるひけつ

～ある小学校の掲示板から～

主幹教諭 松井 直樹

全国から梅雨の便りが届く中、潤いのある緑の木々がより鮮やかに感じられるよい季節となりました。5月も半ばを過ぎた菊の園では、元気に登校してくる子どもたちが、この鮮やかな若葉のように輝いて見えます。

さて、私は春休みに、ある小学校へ出かけました。それは3月にご退職される校長先生にお目にかかるためです。その先生は、授業づくりや教師としての考え方について、今の自分の根になっていることを学ばせていただいた「あこがれの先生」です。先生が「最後の終業式」に子供たちにどんな話をするのか、声を心に、その姿も臆にしっかりと残したかったのです。

校地内に入る私の目に止まったのは、学校内の花に囲まれた掲示板でした。掲示板には「学校の予定」「生活目標」そして「今月の一言」という掲示物がありました。3月の一言は、「幸福のひけつは自分がやりたいことをするのではなく、自分がやるべきことを好きになることである」でした。この言葉は、『ピーター・パン』の作者、イギリスの劇作家ジェームス・マシュー・バリーの言葉です。この言葉を選んだのは、校長先生だということが後から分かりました。3月という節目に新たな環境に向かって歩む子どもたちへ送る言葉だったようです。

私は、この言葉を「今の子どもたち」に送りたいと考えています。子どもたちが6月をどのように迎えるかは、この5月の半ばが重要であると考えているからです。4月から新しい環境になり、新しい学年、学級、先生、友達にもようやく慣れ始めてきた今、もしかすると子どもたちの中で、やるべきことが思うようにいかない、やりたいことが出来ない、思うような自分になっていないことがあるのではないかと思うのです。

これはコロナ禍であることも要因でしょう。思うようにいかない現実もあったのではないのでしょうか。

自分のやりたいことができること、それは素晴らしいことです。しかし、やるべきことの方が多い現実の中、うまくいかないこともある。では、「自分のやるべきことを好きになる」ためにはどうしたらよいのでしょうか。私は次の3つのことを大切にしています。

※「やるべきことを工夫して取り組む」ために2つの目標(やさしい・がんばる)をたてる。

1つ目はかんたんにできそうな目標、そして、2つ目は少し頑張ればできそうな目標を立てて取り組みましょう。

※「やるべきことに取り組む時間」をしっかりとつくる。取り組む予定は自分で決める。

目標にチャレンジするためには、時間が必要です。1日、できれば1週間の生活スケジュールを立ててみる。「オンライン学習日をどう過ごす？」などは「やるべきことの予定づくり」にはよい題材ですね。低学年は聞き取ってあげるとよいでしょう。大切なのは自分で決めることです。

※「やるべきことを取り組んだ自分」のふりかえりを大切にしてみる。

自分で、家族で目標の様子をふりかえりましょう。ですが、うまくいかないことも多いものです。それは気にしない、気にしない・・・それよりも、小さな達成、そして目標や計画づくりを継続できたことを価値づけたいですね。「小さじ一杯の達成感」からやるべきことが好きになるのです。

「全力少年」「全力少女」が集まる菊の園・・・輝いている分、リフレッシュも大切ですね。保護者の皆様、いつもありがとうございます。さあ！1学期も振り返り！「ゆっくり」若葉を育てていきましょう。

15:40～15:55 帰りの会